



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

広島交響楽団 - Hiroshima Symphony Orchestra -

(約 300 字 2016 年 10 月現在)

国際平和文化都市“広島”を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広響は、1998年に秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。現在は年 10 回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約 140 回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞（文部大臣表彰）」「第 54 回中国文化賞」「第 17 回県民文化奨励賞」「第 5 回国際交流奨励賞」「文化対話賞（ユネスコ）」「広島市民賞(2013 年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

(約 400 字 2016 年 10 月現在)

国際平和文化都市“広島”を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広響は、1998年に秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。現在は年 10 回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約 140 回を超える演奏活動を行っている。2015年8月、被爆70年として広島とサントリーホール（広響初）で行われた「平和の夕べ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめた。

これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞（文部大臣表彰）」「第 54 回中国文化賞」「第 17 回県民文化奨励賞」「第 5 回国際交流奨励賞」「文化対話賞（ユネスコ）」「広島市民賞(2013 年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

〒730-0842 広島市中区舟入中町 9-12 舟入信愛ビル 3F <http://hirokyo.or.jp>



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

(約 600 字 2016 年 10 月現在)

1963 年に「広島市民交響楽団」として発足。1970 年に名称を「広島交響楽団」とし、1972 年のプロ改組以来、国際平和文化都市“広島”を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラとして活躍の場を拡げている。1998 年に秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004 年から音楽監督・常任指揮者を務めている。

日本各地はもとより、ウィーン、プラハ、フランス、ロシア、韓国、などで海外公演も行うなど、各地で平和と希望のメッセージを発信し続けている。現在は年 10 回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズ、「音楽の花束」名曲シリーズをはじめ、県内における移動音楽教室、巡回コンサートから各種依頼公演など年間約 140 回を超える演奏活動を行っている。2015 年 8 月、被爆 70 年として広島とサントリーホール（広響初）で行われた「平和の夕べ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめた。

2011 年 4 月より公益社団法人としての認定を受け、学生インターン・シップの受け入れや、「P3HIROSHIMA」として地元プロ団体、広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行い「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞（文部大臣表彰）」「第 54 回中国文化賞」「第 17 回県民文化奨励賞」「第 5 回国際交流奨励賞」「文化対話賞（ユネスコ）」「広島市民賞(2013 年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

〒730-0842 広島市中区舟入中町 9-12 舟入信愛ビル 3F <http://hirokyo.or.jp>



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

(約 1000 字 2016 年 10 月現在)

1963 年に「広島市民交響楽団」として発足。1970 年に名称を「広島交響楽団」とし、1972 年のプロ改組以来、国際平和文化都市“広島”を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラとして活躍の場を拓いている。

創立指揮者として 1964 年、初代常任指揮者に井上一清（現・名誉創立指揮者）、1976 年、初代音楽監督に田頭徳治が就任し、1984 年に日本音楽界の重鎮であった渡邊暁雄を音楽監督・常任指揮者に迎えるまで、楽団の草創期を支えた。渡邊暁雄の就任は楽団の根幹を確かなものとし、その後、高関健（1986 年）、田中良和（1990 年）、十束尚宏（1994 年）の各氏が音楽監督・常任指揮者を歴任し、その精神を受け継ぐ。1998 年に秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任、2004 年から音楽監督・常任指揮者を務め、広響を全国有数のオーケストラに育て上げた手腕は高く評価されている。

海外公演として、ウィーン、プラハ、フランス（ルーアン、ル・アーブル）、ロシア（サンクトペテルブルク）、韓国（ソウル、プサン、テグ）など、各地で平和と希望のメッセージを発信し続けている。

1993 年、初の東京・大阪公演を行い、以後東京公演としてすみだトリフォニーホールでの「地方都市オーケストラフェスティバル」に定期的に参加している。

現在は年 10 回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期や「秋山和慶のディスカバリー・シリーズ」をはじめ、移動音楽教室、「マイタウンオーケストラ広響」、「音楽の花束」名曲シリーズを行っている。他に、各種依頼公演、小編成によるアンサンブルを含むと年間約 140 回に及ぶ公演を行っている。2001 年度から文化庁の助成を受け、我が国の芸術水準向上と地域の文化を牽引する芸術団体として、今後一層の活躍を期待されている。

「P3 HIROSHIMA」として地元プロ団体、広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行っている。特に、子どもたちや地域の方々のもとへ積極的に出かけ、生の演奏を届ける活動を「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

2012 年、プロ改組 40 周年としてメシアン「トゥーランガリラ交響曲」を成功させ、2013 年には創立 50 周年を迎えた。2015 年 8 月、被爆 70 年として広島とサントリーホール（広響初）で行われた「平和の夕べ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめる。

これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞（文部大臣表彰）」「第 54 回中国文化賞」「第 17 回県民文化奨励賞」「第 5 回国際交流奨励賞」「文化対話賞（ユネスコ）」「広島市民賞（2013 年度）」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

〒730-0842 広島市中区舟入中町 9-12 舟入信愛ビル 3F <http://hirokyo.or.jp>



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

(約 1700 字 2016 年 10 月現在)

1963 年に「広島市民交響楽団」として発足。1970 年に名称を「広島交響楽団」とし、1972 年のプロ改組以来、国際平和文化都市“広島”を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラとして活躍の場を拡げている。

創立指揮者として 1964 年、初代常任指揮者に井上一清（現・名誉創立指揮者）、1976 年、初代音楽監督に田頭徳治が就任し、1984 年に日本音楽界の重鎮であった渡邊暁雄を音楽監督・常任指揮者に迎えるまで、楽団の草創期を支えた。渡邊暁雄の就任は楽団の根幹を確かなものとし、その後、高関健（1986 年）、田中良和（1990 年）、十束尚宏（1994 年）の各氏が音楽監督・常任指揮者を歴任し、その精神を受け継いだ。1998 年に秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任、2004 年から音楽監督・常任指揮者を務め、広響を全国有数のオーケストラに育て上げた手腕は高く評価されている。1995 年から 2002 年の間、飯森範親、小田野宏之、渡邊一正の各氏が正指揮者を、2002 年から 2004 年まで金洪才が専属指揮者を務めた。また 2008 年から 2014 年まではエヴァールド・ダネル、ヘンリック・シェーファーが首席客演指揮者を務めた。

海外公演として、1991 年「広響国連平和コンサート」（ウィーン、プラハ）、1997 年フランス「ノルマンディーの 10 月音楽祭」（ルーアン、ル・アーブル）、2003 年ロシア・サンクトペテルブルク公演（建都 300 周年記念事業）、2005 年 10 月韓国公演（日韓友情年 2005 事業としてソウル、プサン、テグの 3 都市）など、各地で平和と希望のメッセージを発信し続けている。

1993 年、初の東京・大阪公演を行い、以後東京公演としてすみだトリフォニーホールでの「地方都市オーケストラフェスティバル」に定期的に参加した。

2007 年自主制作レーベル“PEACE RECORD”をスタートし、チャイコフスキー：3 大バレエセレクションをリリース。その後フォンテックとの共同により、リムスキー＝コルサコフ：シェエラザード、ラフマニノフ：交響曲第 2 番、シベリウス：交響曲第 2 番、ドヴォルザーク：交響曲第 9 番「新世界から」、ドヴォルザーク：スラヴ舞曲集の CD をリリースした。

現在は年 10 回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期や「秋山和慶のディスカバリー・シリーズ」をはじめ、県内における移動音楽教室、市内 8 区を巡回する「マイタウンオーケストラ広響」、広島市との共催による「音楽の花束」名曲シリーズを行っている。他に、文化庁からの指定を受けて全国各地を巡回する学校公演や各種依頼公演、小編成によるアンサンブルを含むと年間約 140 回に及ぶ公演を行っている。2001 年度から文化庁の助成を受け、我が国の芸術水準向上と地域の文化を牽引する芸術団体として、今後一層の活躍を期待されている。

2011 年 4 月より公益社団法人としての認定を受け、学生インターン・シップの受け入れや、各種ワークショップ、講義、楽器教室やセミナーのほか、全国から注目を集める「P3 HIROSHIMA」として地元プロ団体、広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行っている。特に、子どもたちや地域の方々のもとへ積極的に出かけ、生の演奏を届ける活動を「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

2012 年、プロ改組 40 周年としてメシアン「トゥーランガリラ交響曲」を成功させ、2013 年の創立 50 周年にはストラヴィンスキー「春の祭典」や世界的チェロ奏者ミッシェル・マイスキーを招聘した初の 2 日間公演など、意欲的なプログラムで各方面から高い評価を受けた。2015 年 8 月、被爆 70 年として広島とサントリーホール（広響初）で行われた「平和の夕べ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめた。特にサントリーホー

ル公演では天皇・皇后両陛下のご臨席を賜り、天覧公演となった。これを機にアルゲリッチに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に世界平和のための音楽活動が続けることを約束した。

2016年4月にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデがミュージック・パートナーに就任した。

これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞（文部大臣表彰）」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞（ユネスコ）」「広島市民賞」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

〒730-0842 広島市中区舟入中町 9-12 舟入信愛ビル 3F <http://hirokyo.or.jp>